

専門は地球惑星科学の研究

## ■ 専門分野は 地球惑星

科学

「岩石力学」「岩石レオロジー(流動学)」「構造地質学」の研究をしています。具体的には、地震が起きた仕組みや地球の内部の層がゆっくり流れたり動きなど、天体の地下深くで起きている現象を解き明かす研究です。良い仲間と研究環境に恵まれていることが、研究を続ける上で大きな支えになっています。

**■ 研究者をめざすきっかけ**

高校の理科教師を目指し、広島大学に入学しました。しかし、地球惑星科学の研究に取り組むうちに未知の発見に挑む楽しさに引かれ研究者の道へ進みました。

## ■ 研究目標

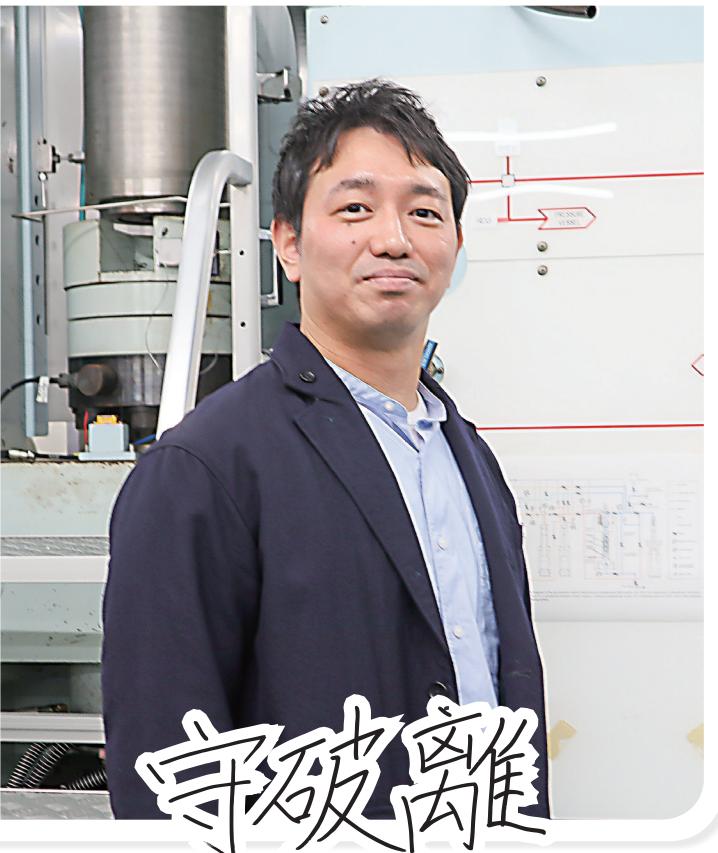
地球だけでなく、他の

岡崎 啓史さん

惑星や天体の内部でどんな変形が起きているのかを明らかにすることを目指しています。地球の内部では、岩石がゆっくりと変形しながら、同時にさまざまな化学反応が進行します。私はこの仕組みを、地球が自らを更新し続ける“惑星の新陳代謝”と表現しています。こうした現象を理解することで、過去だけでなく数千万～数億年先の惑星の未来を推測する手がかりとなります。

## ■ 研究成果

地球内部には多くの水があり、その水が地震の発生に関わっていると考えられています。沈み込んだ岩石に含まれる“水を持つ鉱物”は、深部で高温になると分解して水を放出し、これが地震を引き起こす可能性があります。こうした反応は、特定の深さや場所、物質がそろって初めて起こります。この現象を高温・高圧実験で再現し、地球の深いところで起こる深発地震のメカニズムを示すことができたことは、大きな研究成果であると考えています。（山北）



1985年鳥取市生まれ。広島大学大学院理学研究科博士課程後期修了。博士(理学)。米国ブランドン大学博士研究員、海洋研究開発機構(JAMSTEC)研究員などを経て、2022年4月より現職。

▲これまでの  
若手研究者



Grieggs型高温高压変形実験装置



学生との野外調査風景

2025/12/18 プレスネット掲載

した。しかし、地球惑星科学の研究に取り組むうちに未知の発見に挑む楽しさに引かれ研究者の道へ進みました。

## ■研究目標

地球だけでなく、他の

広島大学大学院先進理工系  
地球惑星システム学プログラ

を実験室で再現し、試験機を自作・改良しながら、岩石や鉱物がどう変形・反応するのかを調べています。実験を通して、地球の過去と現在を明らかにし、未来の姿を探る研



1985年鳥取市生まれ。広島大学大学院理学研究科博士課程後期修了。博士(理学)。米国ラブラン大学博士研究員。海洋研究開発機構(JAMSTEC)研究員などを経て、2022年4月より現職。



▲これまでの  
若手研究者



特定の深さまで  
高圧発地盤  
大きな考